

ようこそ「もりおか町家物語館」へ！

当館は、平成18年まで酒造りが行われていた“旧岩手川
なたや
鉢屋工場”を盛岡市がリニューアルし、平成26年7月に、「懐かしの賑わいに出会う」をコンセプトに『もりおか町家物語館』としてオープンしました。鉢屋町界隈の案内・情報はもちろん、岩手県内の様々な情報発信の場として、市民の皆様に親しみ、活用して頂く場となるよう運営をしております。

また、奥州・遠野・宮古の三街道が合流する盛岡城下の入口として栄えた鉢屋町の「盛岡町家」の魅力や庶民の暮らし文化を未来に残す貴重な「資源」として、保存・活用・発信していくことを目指します。当館の母屋と3つの蔵が醸し出す、懐かしい雰囲気と共に、城下町盛岡の歴史と文化を肌で感じて頂ければ幸いです。

Welcome to Morioka Machiya-story Museum !

This museum used to be IWATEGAWA BREWERY Factory in Nataya-cho. In July 2014, after Morioka City renovated the building, it opened as “Morioka *Machiya-story Museum” with the concept, “meet nostalgic liveliness.” The museum is aimed to be a place open for everyone to freely release prefectural information of Iwate and it also provides local information.

With three arterial roads (*Oshu Kaido, Tono Kaido, Miyako Kaido) intersecting at the entrance of Morioka castle city, Nataya-cho area flourished in Edo era. It still leaves traces of many historical attractions such as the town scape of Morioka Machiya and their life styles.

This museum is considered as a valuable resource and is protected to be inherited for the future generation.

Please enjoy the history and remnants of the castle town Morioka along with the nostalgic atmosphere of the museum's main building and three warehouses.

*Machiya... Edo era's historical house used for living and running business in flourished commercial area.

*Oshu Kaido... An ancient time's arterial road starts from Nihonbashi (Tokyo) to the Tohoku area.



もりおか
町家物語館

もりおか町家物語館

〒020-0827 岩手県盛岡市鉢屋町 10-8

TEL : 019-654-2911

FAX : 019-654-2913

Mail : machiya@iwate-arts.jp

URL : <https://machiya.iwate-arts.jp>

@moriokamachiya @m_machiya_m



◎開館時間 9:00 ~ 19:00 (最終入場 18:30)

◎休館日 每月第4火曜日 (祝日の場合はその翌日)
年末年始 (12月29日~1月3日)

◎入館料 無料

◎施設内店舗営業時間

大正蔵 1F SHOP & CAFE

10:00 ~ 17:00

周辺地図 Map



交通案内 Access

【バス】盛岡駅東口13番乗り場「矢巾営業所行き」乗車、「南大通二丁目」下車。
盛岡駅東口5番乗り場「盛南ループ200」菜園先廻り乗車、「南大通二丁目」下車。
【歩行】旧盛岡バスセンターより20分、仙北町駅より20分、南大通二丁目バス停より7分。
【タクシー】盛岡駅より10分、仙北町駅より5分 ※駐車場16台分ございます。



もりおか 町家物語館



もりおか町家物語館は盛岡市指定管理者、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンターが運営しています。

URL <https://machiya.iwate-arts.jp>

はまとう 浜藤ホール

江戸末期～明治時代に建てられた酒蔵を、梁や柱などは当時のままに木の温もりあふれるホールとしてリニューアルしました。コンサートや演劇公演、セミナー等にご利用いただけます。(約80席)



きおく よこちょう
記憶の横丁

下屋（げや）と呼ばれる蔵と蔵の間を利用した軒下スペース。旧岩手川の資料の展示がご覧いただけます。旧岩手川の酒蔵の梁を再利用したベンチで休憩できます。

浜藤の酒蔵のロビーでは酒蔵の歴史についての展示や、昭和の記録映像をご覧いただけます。

※浜藤ホール利用時は見学が出来ません。あらかじめご了承ください。

はまとう
浜藤の
さかぐら
酒蔵

かぜ
ひろば
風の広場

常設ステージ付きのイベント広場。有料で貸出も行っています。フリーマーケットやステージ発表などにご利用いただけます。

なつかしい
昭和の記録映像



ゆかり しりょうしつ
縁の資料室(1階)

旧岩手川の酒蔵時代、文庫蔵は主に倉庫や資料室として使われていました。現在は1階を縁（ゆかり）の資料室とし、鉢屋町界隈ゆかりの著名な人物について紹介しています。



えほん こべや
絵本の小部屋(2階)

2階は屋根裏造り風の絵本コーナーです。



ふんこぐら
文庫蔵



おもや
母屋

当館の名前にもなっている“盛岡町家”。このほとんどは道路と並行に屋根の棟をもち、母屋は街道側、奥側に中庭・蔵が置かれます。

母屋はふつう、街道側から奥まで貫通する「ろじ」と、それに面して「見世」「中の間」「座敷」の三間取りし、特にも家長の仕事場・家の中心となる「中の間」は「常居（じよい）」と呼ばれました。この部屋には大きな神棚を設け、2階を乗せない吹き抜け構造にしました。これには「主人を足蹴にしない」「出世を妨げない」という意味があります。

総合
案内所



1F SHOP & CAFE

大正時代に建てられた酒蔵です。1階は蔵の特色や古い町並みをイメージした風情で、盛岡ならではの工芸品、銘菓、地酒、書籍等のショップと、大人気の「松ぼっくり」さんが提供するジェラート（特にアロニアジェラートが人気）の販売コーナーがあります。喫茶コーナーはここならではの町家ブレンドコーヒーをお楽しみください。



2F GALLERY

2階では盛岡市所蔵美術品を中心に、定期的に企画展示をしています。

※大正蔵には自動階段昇降機がございます。ご利用の際は職員までお声掛けください。



コミュニティースペース
DOMA

美術展や各種講座などの自主事業や市民協働の催しに活用されます。



もりおか町家物語館は
4棟の建物と、2つの空間の
計6つのエリアから成る施設です